

NOSAI わかやま

2018
1月号
No.003

日高町
比井保育所
のみなさん

目次

- 2P … 新年のごあいさつ／農業災害補償制度70周年記念特別表彰
- 3P … 農業災害補償制度70周年記念書写全国コンクール
- 4P～5P … わかやまほっとトピックス
- 6P … 農業共済制度の一部改正について
- 7P … 収入保険制度について
- 8P … 表紙紹介



安心のネットワーク

NOSAI

和歌山県農業共済組合

ホームページ … <http://www.nosai-wakayama.or.jp/>



備えの種をまこう。

～ 農業災害補償制度 制定70周年 ～



新年あけまして おめでとうございませう

組合長理事 鈴木 恒雄

組合員の皆さまにおかれましては、健やかなる新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

皆さまもご存じの通り、当組合は昨年4

月に3組合が合併し、和歌山県全域を管轄とする組合となり、5月には連合会の権利義務を継承した特定組合、「和歌山県農業共済組合」として新たな一歩を踏み出しました。このような大きな変革をしたにも関わらず、順調に組合運営を進めて来られましたのも、ひとえに組合員の皆さま方の御理解・御協力によるものであり、深くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、うめにつきましては開花期の天候不順により結実不良園が多発し異常被害となりました。また8月には台風5号による水稲圃場の冠水や土砂の流入が発生し、10月には台風21・22号の相次ぐ襲来により、うんしゅうみかんを中心に果実の二エやキズ・腐敗果が多発しました。園芸施設でも被覆物の破損などの被害も多くみられました。被害に遭われ

た皆さまに心よりお見舞い申し上げますとともに、今後も迅速な被害確認、損害評価を心掛け、農業経営の安心のセーフティネットとなるべく、全力を尽くしてまいります。

また、昨年は従来の「農業災害補償法」を「農業保険法」に改める法案が可決され、本年4月より施行されます。この改正により、これまでの農業共済制度に加え、新たに収入保険制度の導入が決定されました。この新しい制度は青色申告を行っている農家が対象で、品目の枠にとらわれることなく農業収入全体を補償の対象とする仕組みです。加入申請は本年10月から始まりますが、当組合で実施している水稲共済や果樹共済等の類似制度とは重複して加入できない制度となっております。組合員の皆さまの経営内容に合わせてどちらの制度に加入して頂くことが更なる農業経営の安定につながるかを提案しつつ、役員一丸となって事業推進に努めてまいります。

結びになりますが、皆さま方のますますのご健勝とご活躍を祈念申し上げます、新年のご挨拶と致します。

役員一同、謹んで
新年のご挨拶を
申し上げます。

- | | |
|--------|-------|
| 副組合長理事 | 山路 芳雄 |
| 副組合長理事 | 植田 榮 |
| 専務理事 | 岩橋 淳 |
| 理事 | 赤坂 好哉 |
| 理事 | 宇野 嘉一 |
| 理事 | 土井 清美 |
| 理事 | 藤田茂太郎 |
| 理事 | 貴志 壽夫 |
| 理事 | 大野 修作 |
| 理事 | 城山 富三 |
| 理事 | 東 善彦 |
| 理事 | 熊代日出夫 |
| 理事 | 宮崎 量大 |
| 理事 | 小谷 清雅 |
| 理事 | 杉谷 孫司 |
| 理事 | 仲地 雅壽 |
| 代表監事 | 清水 肇 |
| 監事 | 瀬藤 祝夫 |
| 監事 | 田伏 淳二 |
| 参事 | 弓庭 康誉 |



農業災害補償制度 70周年記念特別表彰



昨年11月、東京国際フォーラムで開催された、農業災害補償制度70周年記念大会において、当組合から左記の方々が表彰を受けられました。おめでとうございます。

70周年記念農業共済功績者表彰
農林水産大臣表彰
山路 芳雄氏（和歌山市）

経営局長表彰
宮崎 量大氏（田辺市）

70周年記念永年勤続
NOSAI基礎組織関係者表彰
赤井 正憲氏（橋本市）

東 善彦氏（有田川町）
芝崎 和好氏（紀美野町）

橋本 康秀氏（日高町）
竹中 芳美氏（みなべ町）

農業共済功績者表彰
平井 國雄氏（紀の川市）

則村 昌規氏（有田川町）
杉若 安氏（田辺市）

大久保家宏氏（有田川町）
弓庭 康誉氏（職員）

山田 雅昭氏（職員）

熊野牛のブランド価値向上をめざして

中川 裕行さん(44)

大学を卒業した後、畜産関連の会社に就職し、26歳で実家へ戻った中川さん。両親が経営していた農業を継ぎ、農事組合法人代表となった。

現在は繁殖和牛を中心に水稲や野菜を作付けするほか、畜産では副産物である牛糞堆肥を販売している。

両親から経営を引き

継いだ頃は牛肉市場の価格が低迷し、水稲や野菜作りにおいても台風等の自然災害の影響を受け、「思うように



日高川町



いかなることがたくさんあり、苦労したよ」と話す。

今は生まれた子牛を田辺市で2〜3ヶ月ごとに開催される熊野子牛市に出品している。

「遠くは鳥根県からも毎回購買者が来ていただけています。少しずつではありますが、知名度が上がってきているのかな、と思うこの頃です」と中川さん。

今後は和歌山県紀南地域でも紀南和牛改良組合を正式に立ち上げ、市場で人気のある血統を更に改良し、熊野牛のブランド価値を高めていきたいと考えている。

多肉植物で自分を表現する！

水崎 恭典さん(45)

「葉っぱ1枚から成長していく生命力の強さは本当にすごい！」と話すのは、約10aのハウスで200種類以上の多肉植物を生産する水崎さん。

もともと、草花のポット苗を生産していたが、「今後、流行するものは何か」と考え、生命力が強く、尚且つ冬場に紅葉する美しさに着目し、多肉植物の栽培を始めた。

現在、市場や専門店、インターネットにて販売している。また、



自らの表現を取り入れたい、と鉢作りから寄せ植えまで全て行い、Instagram映えする写真を投稿し、SNSや口コミから広がった個人に販売したり、寄せ植え体験を企画したりと様々な分野に取り組んでいる。

「多肉は夏場の水分管理・品質維持が大変で、試行錯誤の繰り返しです。それを乗り越えて冬場に見せてくれる色合いは感動しますよ。今後は施設内のバリエーションをもっと豊かにし、育種してオリジナル品種も作ってみたい。サボテンなんかも楽しそうですね」と新たな目標を語ってくれた。

有田川町



自慢の愛犬

小坂 洋平さん(78)



犬を飼い始めて60年。今は秋田犬2頭とシェパード1頭を飼育している。秋田犬は従順で人懐こく、ヨーロッパなどでも人気の犬種。小坂さんは毎年全国各地で開催される秋田犬の展覧会に出展している。昨年は香川にて開催された地方大会(支部展)において龍泉(♂4歳)が優勝した。今年も玉錦(♂8カ月)が12月に熊本で開催される全国大会(本部長)に出る予定だ。

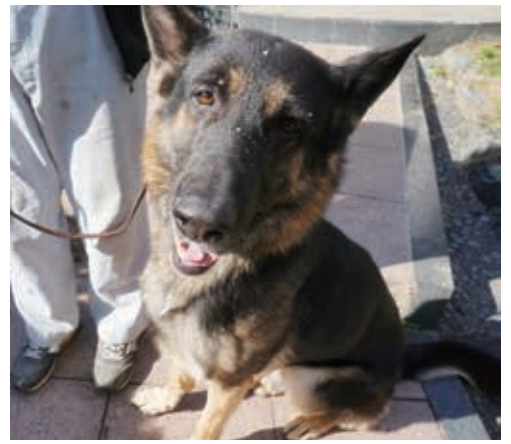
和歌山市

目標は「日本の秋田犬を育てること」と語る和歌山市の小坂洋平さん。

警察犬には、警察が飼育管理し訓練する直轄警察犬と、一般の人が飼育管理し訓練する嘱託警察犬の2種類がある。かつては小坂さんも嘱託警察犬の指導手として、行方不明者の捜索や強盗事件の現場に出動していた。

現在は秋田犬の飼育に力を入れ、雨の日も風の日も毎日4時間の散歩を欠かすことなく、本部長での優勝を目指して奮闘している。

一方で、シェパードのホーク(♂6歳)は警察犬として活躍した後、現在は訓練犬の競技会に出場し、今年も足跡追及の部でチャンピオングループ(得点が95点以上のグループ)に入賞するなど、優秀な成績を収めている。



ちょっとおでかけ



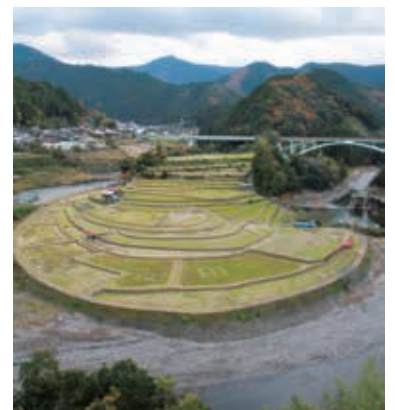
所在地：有田郡有田川町三田 664-1
 営業時間：午前10時～午後5時30分
 郷土料理飲食コーナー：午前11時～午後4時30分
 休日：毎週火曜日、12月31日～1月6日
 (トイレ・駐車場・公衆電話は24時間使用可能)



道の駅 あらぎの里

道の駅「あらぎの里」は、特徴的な扇状の形をした棚田「あらぎ島」の近くにあり、特産の「ぶどう山椒」商品や、伝統工芸の手漉き和紙「保田紙」製品などのお土産も販売しています。

あらぎの里の名物は自家製のこんにゃくと豆腐。飲食コーナーではこんにゃくを練りこんだヘルシーな「こんにゃくうどん」や、地元の新鮮な食材を使用した「特選あらぎ定食」など、しみずの郷土料理が楽しめます。



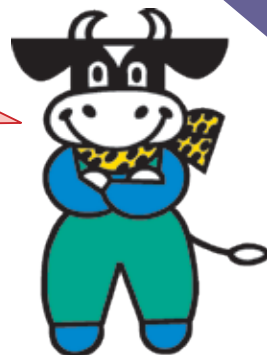
あらぎ島

有田川町の特産で生産量日本一の「ぶどう山椒」商品や、伝統工芸の手漉き和紙「保田紙」製品などのお土産も販売しています。

周辺には日帰り入浴もできる「しみず温泉」や、約千本もの桜が沿岸に植えられている「二川ダム湖」があります。

農業共済制度の一部改正について

おしえて！
ソーサイくん



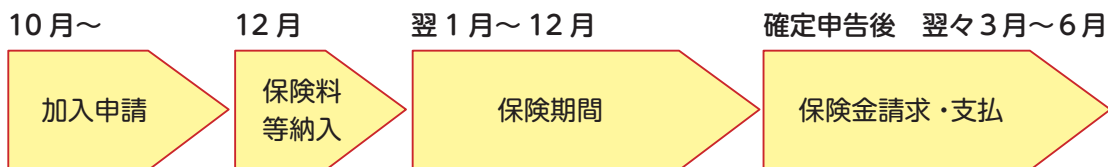
農業共済の制度が一部改正されたよ。大きな変化は次の2つ！

- ①農作物共済が当然加入制から任意加入制になります。
- ②家畜共済を死廃共済と病傷共済に分離し、選択して加入できるようになります。

共済種類	変更項目	現 行	改 正 後	移行（実施）時期
農作物共済 	加入要件	当然加入制	任意加入制	平成 31 年産から
	引受方式	一筆方式	廃止	平成 34 年産から
		新設	地域インデックス方式 ※統計データにより、地域の収穫量が一定割合以上減収したときに共済金を支払う	
補償特例	新設	一筆半損特例 ※収穫量が 50% 以上減少した圃場は、実測等を行わずに 50% 減収として共済金を支払う	平成 31 年産から	
畑作物共済 	引受方式	一筆方式	廃止	平成 31 年産から
		新設	地域インデックス方式	
	補償割合	1 種類のみ	複数の選択肢を設置	
果樹共済 	引受方式	新設	地域インデックス方式	平成 31 年 1 月 1 日以降に責任開始する共済関係から
	補償割合	1 種類のみ	複数の選択肢を設置	
園芸施設共済 	引受期間	1年未満（短期加入）の引受可能	1年間（短期間加入の廃止）被覆していない期間は、被覆されている期間より掛金率が下がります	平成 31 年 1 月 1 日以降に責任開始する共済関係から
家畜共済 	引受方式	死廃共済と病傷共済のセット加入	死廃共済と病傷共済を分離どちらかを選択して加入可能	平成 31 年 1 月 1 日以降に責任開始する共済関係から
	死廃事故における資産価値	期首の資産価値	肥育牛等は事故発生時の資産価値	
	付保割合	家畜の異動の都度変動 ※掛金は期首時の付保割合で計算	期首に年間の飼育計画を申告し、期首時の付保割合で固定 ※期末に掛金を調整	
	診療費	初診料は自己負担、それ以外の診療費は共済金で補償	診療費全体（初診料を含む）の 1 割を自己負担	平成 32 年 1 月から
	待期間事故	家畜導入後 2 週間以内の事故は共済金の請求不可	共済加入者間で取引された家畜は、2 週間以内でも請求可能	平成 31 年 1 月 1 日以降に責任開始する共済関係から
	牛白血病	家畜商経由で出荷し、と畜場で牛白血病と診断された場合は、共済金の対象外	家畜商経由の場合でも共済金の対象になる	

収入保険制度について

収入保険に加入する場合の年間スケジュール



■収入保険に加入するには、加入申請時に少なくとも1年分の青色申告実績が必要です。補償限度を最高まで選択する場合、過去5年間の青色申告が必要になります。

- ※平成29年分を含む過去1年以上青色申告をしている方→平成30年10月～加入申請可能
- ※平成30年分から青色申告を始める方→平成31年10月～加入申請可能



平成30年分から青色申告を始める方は、平成30年3月15日までに、青色申告承認申請書を最寄りの税務署へ提出してください。

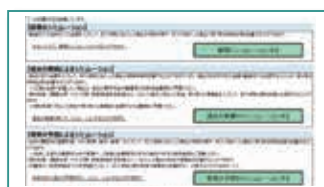
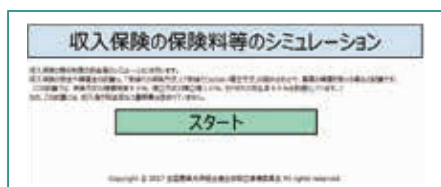
地域のJAや農業委員会等でも無料相談や代行サービスなどのサポートをしています。

◎収入保険と類似制度との比較シミュレーションについて

収入保険と類似制度（農業共済、収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）、野菜価格安定制度）の掛金や補てん金の比較を簡易的に行うことができるシミュレーションを、当組合ホームページにて公開中です！

<http://www.nosai-wakayama.or.jp/>

- ①簡易なシミュレーション、②過去の実績によるシミュレーション、③将来の予想によるシミュレーションの3パターンからシミュレーションを行うことができます。



※マイクロソフト社のExcelを利用して作成していますので、ファイルをダウンロードした上でご利用ください（Excel2010以降が動作する環境が必要）

※種々の前提条件を置いた上での試算であり、確定的な情報を提供するものではありません。保険料・保険金等のシミュレーション結果は、あくまで参考情報としてご利用ください。

◎収入保険制度に関する県別説明会について

平成30年10月より加入申請が始まる収入保険についての説明会を、下記日程で開催いたします。

- 開催日時：平成30年1月11日(木) 13時30分～
- 開催場所：JAわかやま本店 大ホール（和歌山市栗栖642）

- 参加を希望される方は、下記宛にファックス又はメールのどちらかで、①氏名、②住所、③職業、④連絡先電話番号をご明記の上、平成30年1月5日(金)までにお申し込み下さい。

NOSAIわかやま 本所 収入保険準備室
FAX：073-425-6380 E-mail：info@nosai-wakayama.or.jp

※参加者多数の場合には参加できない場合がありますのでご容赦願います。

※農業者の方の参加を優先しますので、農業者の方は職業欄にご明記頂きますようお願いいたします。



元気いっぱい
の園児
たちに囲まれて
ノーサ
イクンも活
力をもら
いました。



表紙の紹介
日高町立比井保
育所のみな
さんを撮
影さ
せていた
だきまし
た！

県内各地のイベントに参加し、NOSAI 制度の PR 等を行いました！



11月26日・紀の川市産業まつり

11月19日・紀美野町農林商工まつり

11月12日・田辺市農林水産業まつり

お立ち寄りくださった皆さま、ありがとうございました！

読んでみませんか？農業共済新聞

「農業共済新聞」は農業共済に関する情報はもちろん、わかりやすい農政解説、営農技術や暮らしに役立つ身近な情報を豊富に紹介しています。

さらに近畿版では地域に密着し、地元の農業を盛り立てる農業者の方の話題を取り上げています。

購読料は年間 **4,680円** で月 **4** 回発行です。

購読のお申込みは下記の最寄りの事務所まで。



安心のネットワーク NOSAIわかやま

お問い合わせ **和歌山県農業共済組合** URL <http://www.nosai-wakayama.or.jp>



本 所	和歌山市美園町五丁目1番地の1 和歌山県JAビル(5F)	TEL:073-436-0771 FAX:073-425-6380 E-mail:info@nosai-wakayama.or.jp
北 部 支 所	紀の川市粉河681-2	TEL:0736-73-6724 FAX:0736-73-7031
和歌山出張所	和歌山市黒田21	TEL:073-471-1983 FAX:073-471-1535
伊都出張所	伊都郡かつらぎ町丁ノ町2468	TEL:0736-22-0611 FAX:0736-22-0618
中 部 支 所	有田郡湯浅町湯浅1696-3	TEL:0737-63-5121 FAX:0737-63-5733
海草出張所	海南市大野中732-1	TEL:073-482-2205 FAX:073-483-5990
南 部 支 所	田辺市朝日ヶ丘24-10	TEL:0739-22-0833 FAX:0739-22-1044
御坊出張所	御坊市湯川町財部651-4	TEL:0738-22-0626 FAX:0738-23-0757